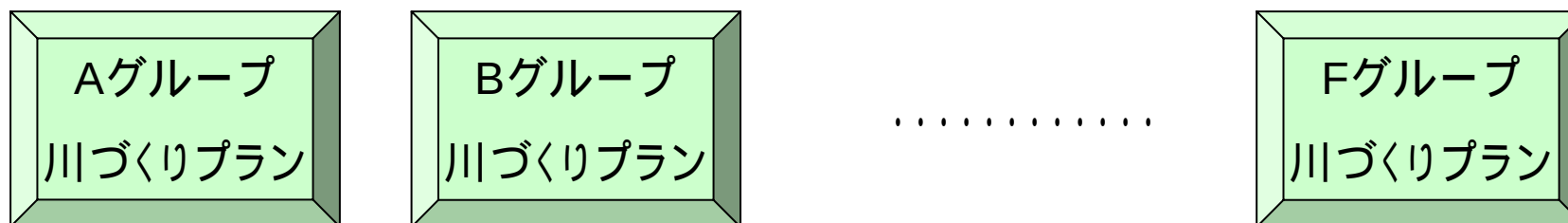


日田 川・まち みらいづくり懇談会

～ 庄手地区川づくりワークショップ～
～ 第5回～

平成19年6月11日

庄手地区川づくりワークショップの進め方について



参加者が6グループに分かれて各グループ毎に
庄手川の川づくりプランを検討

全体で議論し1つにまとめる

庄手川かわづくりプラン(案)

地域住民に説明・意見聴取

庄手川かわづくりプラン策定

前回までの確認

【前回までのスケジュール】

第1回（1月16日）

- ・ワークショップの進め方、庄手川の現状把握、意見交換



第2回（1月25日）

- ・どのような庄手川にしたいか、庄手川に対する思いについて、川づくりプラン（案）について

《グループ討議》



第3回（2月23日）

- ・川づくりプラン（案）について
- ・発表者を決める

《グループ討議》



第4回（3月20日）

- ・各グループの川づくりプラン（案）を発表、全体討議



今後のスケジュール

【今後のスケジュール】

事務局

- ・各グループの意見を集約した川づくりプラン（素案）を作成

第5回（6月11日）

- ・川づくりプラン（素案）を提示
- ・川づくりプラン（素案）について討議

第6回（6月末）

- ・川づくりプラン（素案）について討議
（清書したものを提示）

日田川・まちみらいづくり懇談会（6月末）

- ・途中経過を報告
- ・川づくりプラン（素案）への意見聴取

地域住民への情報提供（7月上旬）

- ・川づくりプラン（素案）を提示
- ・アンケート等にて意見聴取

第7回（7月末）

- ・川づくりプラン（案）の策定

第4回ワークショップでの主な意見

【庄手地区 川づくりワークショップ での主な意見】

～ 治水 ～

無堤部分の築堤の延伸
石積み護岸の整備(無堤部)

～ 河川利用 ～

賑わいのある川
川全体に車が入らない ←
浄明寺橋下流右岸に駐車場を設置 ←
老人と孫にやさしい川
全川的な遊歩道の整備 ←
遊歩道をなくす(石河原を散策する) ←
橋から降りるアクセス階段
堤防天端より高水敷に降りることができる坂路を設置
せせらぎ水路(中ノ島高水敷)
川に近づきやすいように緩傾斜護岸にする
高水敷を親水施設(広場)として整備 ←
左岸側にせせらぎ水路
右岸の高水敷を増設し公園として整備(川の流れを変える)
全川を通してカヌーで通れるように整備 ←
飛び石の設置 ←
堰を改築(カヌー下り)
中ノ島の船通しを残す
木陰をつくる
遊歩道の途中に休憩所を設置
亀山公園前に遊び場の復活(なだらかな水際) ●
子供が遊べるような整備
魚釣りができるような整備 ●
下流合流点付近の河畔林の利用(キャンプ場など)
ガラス越しに見える魚道やウォータースライダー等の川で遊べる施設の整備
既設擁壁部は高低差があり大変危険である(構造変更)
既設樋管開水路部に渡河施設を設置
空地を公園化する
取水堰を設置し、小水力発電を行う

～ 河川景観 ～

昔の庄手川を取り戻すことを目指した整備(コンクリート護岸を撤去)
一部試験的に護岸を取壊すことにより、自然な川になるかを試験する
水面幅を広く
亀山橋付近の護岸は石積み
高水敷をなくして川幅いっぱいに水を流す
多段式落差工を設置
水面幅の維持
水の流れが楽しめるような整備
川幅を広げ、自然石の落差工を設置
上流の川らしい川を目指す
右岸側は人が降りられるように(芝生+河原)、左岸側は自然の姿(原っぱ)
右岸に桜堤
中ノ島の高水敷に桜堤を設置
亀山公園・みどり橋付近護岸は既存のまま残す
コンクリートを壊して石河原にする
大きな石の設置と洲の再生(みどり橋付近)
城内川との合流後は川幅を広く

～ 河川環境 ～

昔の自然な河に戻しましょう
浄明寺水門付近に洲を設置
浄明寺水門付近に砂洲をとばすように水制を設置
蜚の復活
ヘドロ・堆積土砂の撤去
河畔林の保全
川幅を広く、蛇行させる
瀬と洲を保全
魚道を設置し、川の連続性を確保する
河川環境の改善を目指した整備
川を蛇行させる
堰の改築(可動化)
石積みを施工する際には空積で
瀬と洲を交互に整備
既設橋梁の橋脚を利用し洲を再生

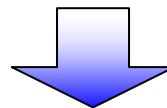
意見集約の考え方

【意見集約の基本的な考え方】

- 治水上問題がないと思われる意見
- 管理上問題がないと思われる意見
- 各グループで共通していると思われる意見
- 全体的なバランス



専門的な視点



庄手川 川づくりプラン(素案) - 事務局案 - の提案

庄手川 川づくりプラン(素案) - 事務局案 -

【川づくりのコンセプト】

- ◆河川環境の改善を目指した川づくり
- ◆家族で遊べる川辺づくり
- ◆賑わいのある川づくり

【川を感じゆっくり、ゆったり、くつろげる場所】

- ◆日田温泉街から浄明寺橋間を周遊できる動線を確保するために、限地区的歴史的景観に配慮した散策路の整備を行い、川と周辺の景観が創り出す風景を楽しむことができるようにします。
- ◆散策中に水際付近に近づきたくなるよう、護岸の勾配を緩くするとともに、河川環境を改善します。
- ◆家族で遊んだり、散策中にゆっくりくつろげるような場所となるよう配慮します。



【自然を感じ、自然を楽しむ場所】

- ◆現存する河畔林を保全するとともに、キャンプ場や駐車場の整備を行うことで、自然を楽しむような空間とします。
- ◆庄手川を周遊できるよう動線を確保します。

【川を眺めながら楽しく歩いたり、水遊びをする場所】

- ◆コンクリート護岸の撤去を行い、河畔林を保全し、昔の川本来の姿を取り戻すことを目指します。
- ◆庄手川を周遊できるよう動線を確保するとともに、堤防からの坂路や橋からのアクセス階段を整備することで、色々な場所で川を眺めながら散策できるようにします。
- ◆瀬や淵の創出、流速の緩和、親水性の向上に配慮し、子供達が川に入ったり、魚釣りをしたりして楽しめる空間とします。

川づくりの考え方について

【浄明寺橋～みどり橋】

【川を感じゆっくり、ゆったり、くつろげる場所】

- ◆ 日田温泉街から浄明寺橋間を周遊できる動線を確保するために、隈地区の歴史的景観に配慮した散策路の整備を行い、川と周辺の景観が創り出す風景を楽しむことができるようにします。
- ◆ 散策中に水際に近づきたくなるよう、護岸の勾配を緩くするとともに、河川環境を改善します。
- ◆ 家族で遊んだり、散策中にゆっくりくつろげるような場所となるよう配慮します。

《主な整備メニュー》

- 飛び石の設置
- 石積み護岸及び石畳風遊歩道の整備
- 流入規制堰の設置
- 堰の改築やヘドロの撤去による河川環境の改善
- 木陰の創出及び親水広場の整備
- 蛍に配慮した整備

川づくりの考え方について

【合流点上流～浄明寺橋】

【川を眺めながら楽しく歩いたり、水遊びをする場所】

- ◆ コンクリート護岸の撤去を行い、河畔林を保全し、昔の川本来の姿を取り戻すことを目指します。
- ◆ 庄手川を周遊できるよう動線を確保するとともに、堤防からの坂路や橋からのアクセス階段を整備することで、色々な場所で川を眺めながら散策できるようにします。
- ◆ 瀬や淵の創出、流速の緩和、親水性の向上に配慮し、子供達が川に入ったり、魚釣りをしたりして楽しめることができる空間とします。

《主な整備メニュー》

- ・ コンクリート護岸の撤去
- ・ 周遊できる遊歩道の整備(樋管開水路部に渡河施設を設置)
- ・ 橋からのアクセス階段の整備
- ・ 川幅を広げ、緩傾斜護岸とし、分散型落差工を設置
- ・ 水遊び場や魚釣り場の確保
- ・ 休憩所の設置や木陰の創出
- ・ 河畔林の保全
- ・ 駐車場(カヌー発着所)の整備

川づくりの考え方について

【合流点付近】

【自然を感じ、自然を楽しむ場所】

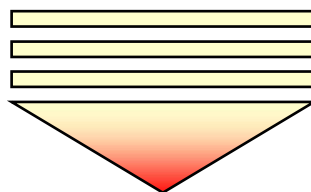
- ◆ 現存する河畔林を保全するとともに、キャンプ場や駐車場の整備を行うことで、自然を楽しめるような空間とします。
- ◆ 庄手川を周遊できるよう動線を確保します。

《主な整備メニュー》

- 飛び石の設置
- 河畔林の保全
- キャンプ場の整備
- 駐車場及びカヌー発着所の整備

今回のワークショップで議論したいこと

各グループから出された意見の中で、**相反する意見**、同時に実施できない意見等について今回のワークショップで議論して行きましょう。



- 全川的な遊歩道の整備
- 遊歩道をなくす(石河原を散策する)
- 高水敷をなくして川幅いっぱい水を流す

- 全川を通してカーブで通れるように整備
- 飛び石の設置

今回のワークショップで議論したいこと

- 高水敷を親水施設(広場)として整備
- 浄明寺水門付近に砂洲をとばすように水制を設置

- 川全体に車が入らない
- 浄明寺橋下流右岸に駐車場を設置